

# 地区単位で取り組む TAAの活動について

富田地区 安全 安心 推進協議会

略称：T A A



それでは、地区単位で取り組むTAAの活動報告を始めさせていただきます。TAAとは、富田地区安全安心推進協議会の略称です。【通訳】

概要につきましては、私下平が、部会の発表は各部長より発表させていただきます。不慣れではありますがよろしくお願い致します。【通訳】

## 私たちの富田区

### 富田区の現状

1. 総人口 **404**人  
(男性204女性200)
2. 世帯数 130世帯  
うち区加入世帯数 106世帯
3. 高齢化率 **26.4%**
4. 箕輪町南西端に位置し、後背地は中央アルプス山麓で、南アルプス・八ヶ岳連峰・霧ヶ峰を一望する 風光明媚な地域です。

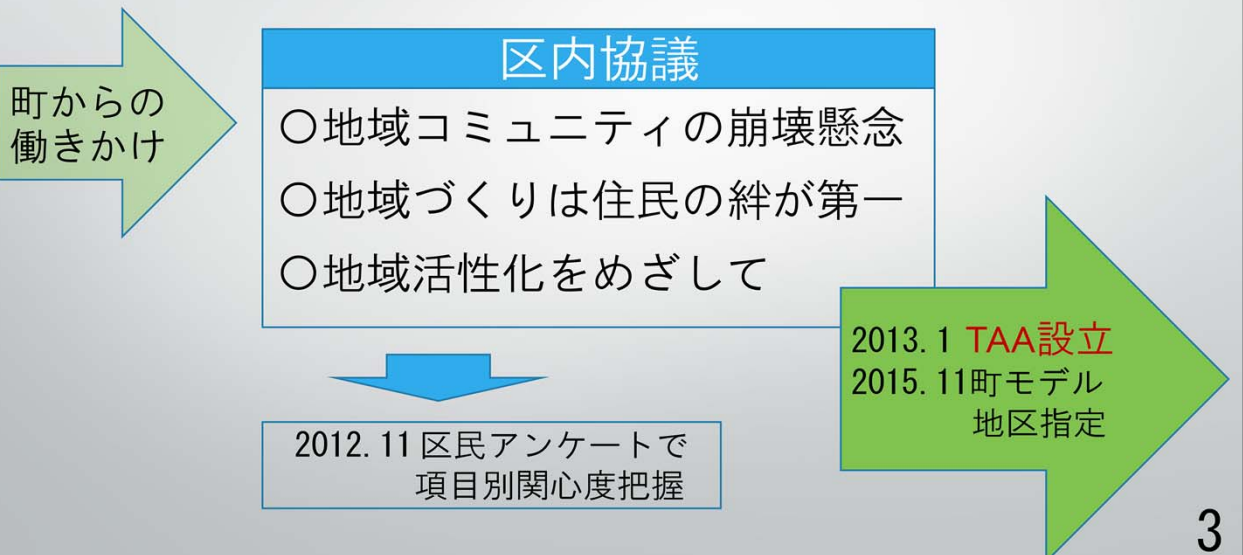


地区単位の自治会を区と言いますが、私たちの富田区は

人口 404人・区加入の世帯数106戸の小規模な区であり、高齢化率は26.4%となっています。【通訳】

・先程会長あいさつにありました様に大変風光明媚な地域であり、私たちは「緑豊かな自然と癒しの風景に区民が集う富田」をキャッチフレーズに健康で心豊かな安全安心な地域づくりを目指しています。【通訳】

# 取組経緯



セーフコミュニティ取組の経緯ではありますが、【通訳】

2012年5月 に箕輪町より各区でのSCの取組打診があり、それを受けて区議会により検討を開始しました。【通訳】

昨今の地域コミュニティの崩壊が課題になる中、当地区でも例外ではなく、安全安心な地域づくりは地域住民の絆が第一と考え、地域の活性化も見据えて『地域の事は地域で！自分のために・皆のために！』の精神のもと、【通訳】

2012年11月区民アンケートを実施し、その区民の安全安心への高い関心度を踏まえ、2013年の区民総会で取組を決議し、同年7月より活動を開始いたしました。【通訳】

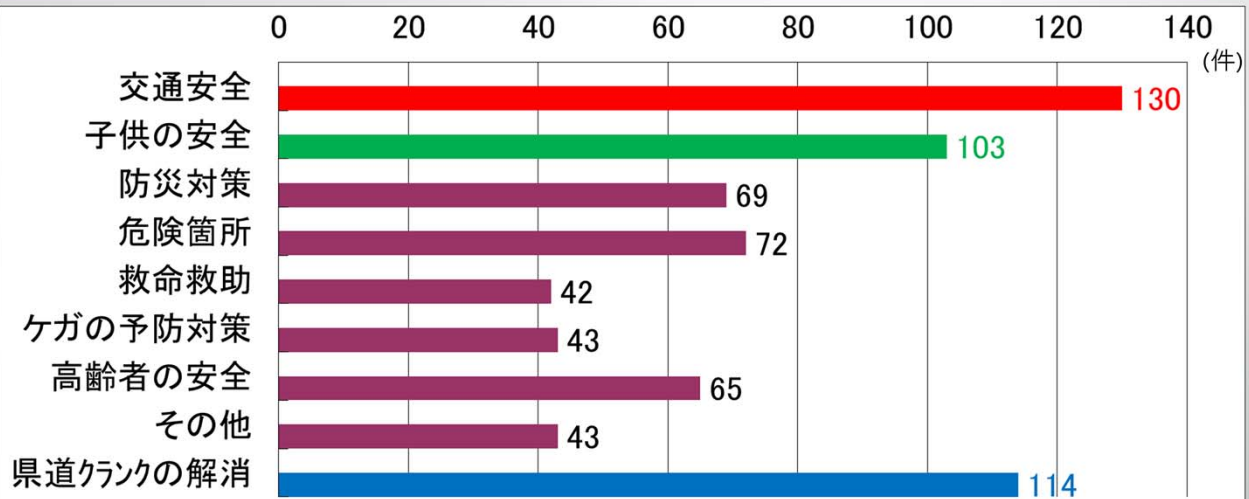
活動資金については、現在町の活動推進補助金で対応していますが、2015年に補助金制度ができるまでは、要望を区や町に行って実現しておりました。【通訳】

注:資料等の作成は、役員の好意(自己負担)で対応

図表 1

## 区民意識調査アンケートの結果

- 区民104世帯に依頼し、129人が回答。複数回答可。 n = 681



4

このアンケートの目的は、区内の安全安心に関し、区民が日頃感じている課題・問題点を幅広く把握するため実施いたしました。【通訳】

アンケート項目は、①交通安全以下ご覧の9項目で行い、回答は記述式と致しました。【通訳】

アンケートの結果は

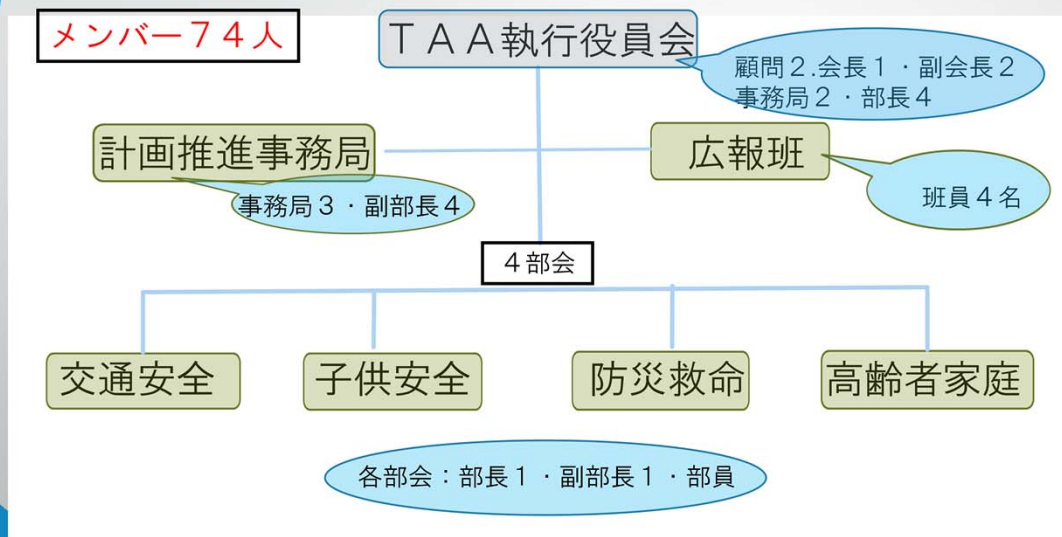
回答率 120% (回答枚数とアンケート依頼世帯比)、男女比6:4・年代は20から80代までで50~60代が多く22~25%となっています。【通訳】

アンケートで回答の多い順番は

①交通安全 以下スライドのようになりました。また記述式回答方式により、住民の気持ちが文章に現れて、意義のあるアンケートとなりました。【通訳】

そしてこの結果から、交通安全、子供安全、防災救命、高齢者家庭の4部会体制としましたが、その課題は町が取り組んでいる課題と合致しています。【通訳】

# TAA組織図



5

これは現在のTAA組織図です。

現在のメンバーは総員で74名です。区民戸数106戸ですので、多くの住民がメンバーとなっています。【通訳】

- ・執行役員会は、11名で構成し全体を総括します。
- ・事務局は7名で、原則として自治会役員の区会議員が当たります。
- ・広報班は4名で構成し、TAA便りの発行等広報関係全般を担当しています。【通訳】
- ・部会は4部会体制で、部長1名・副部長1名と部員13人程で活動しています。【通訳】



図表2

## TAA 3年間の活動状況

区分	会議回数 (事業回数を除く)	年平均
交通安全部会	31	10
子供安全部会	23	8
防災救命部会	30	10
高齢者家庭部会	31	10
総会・役員会他	26	9
合計	141	47



部会開催（高齢者家庭部会）

6

これは、3年間の会議回数を表にしたものです。【通訳】

3年間で総会議回数が141回(年あたり47回・月当たり4回)となります。またこの活動は全て無報酬で行っています。【通訳】

この会議回数は現場での活動が含まれておりません。それらを加えると月あたり6回ほどになります。

TAA三役は全ての部会に出席します。【通訳】

それでは、部会別の取組状況を各部長より発表いたします。【通訳】

## 図表3 交通安全部会の取組成果

### 課題～道路の安全

取組項目	内容・成果実績
道路の安全点検	年2回継続実施中
交通量調査	2014年実施
交通安全対策	年2回人波作戦継続実施中
交通安全機器点検	年2回補修更新多数
見通し確保	樹木伐採等4ヶ所
交通安全講習会	年1回安全講習会継続実施中
マップ作成	ヒヤリハットマップ全戸配布



### 交通安全部会の人波作戦

交通安全部会の伊藤です。宜しくお願い致します。【通訳】

交通安全部会の課題は、カーブが多く見通しが悪い道路が多いことから道路の安全とし、主な取組実績はご覧のとおりです。【通訳】

道路の安全点検は、年2回継続実施しています。  
交通量調査も行いました。これにより想像以上の交通量を確認し、部会の活動原点となっています。  
独自の人波作戦を年2回継続して行っています。【通訳】

交通安全機器設備の点検を年2回継続実施し、改修・更新・新設等多くの実績があります。【通訳】

道路の見通しについては、支障木の伐採により4ヶ所の安全対策を実施しました。  
啓発活動として、年1回交通安全講習会を開催しています。【通訳】

ヒヤリハットマップを作成し全戸配布いたしました。これにつきましては次のスライドをご覧くださいと思います【通訳】

# ヒヤリハットマップ



このスライドがヒヤリハットマップの一部分です。【通訳】

画面が細かくて恐縮ですが、右下の凡例のように記号で表しています。事故発生地点・路面凍結箇所・交差点での注意事項・通学路・時間帯別交通量などが表示されています。このマップは掲示されていますのでご覧ください。【通訳】

以上が、交通安全部会の成果実績です。【通訳】



## 図表4 子供安全部会の取組成果

### 課題～子供の安全

取組項目	内容・成果実績
通学パトロール	新規12名入隊
児童公園定期点検	危険箇所改修
通学路の安全対策	横断歩道の設置
//	グリーンベルト設置
//	グレーチング設置
子供の安全用具	防犯ブザー・セフティバンド配布
啓発活動	SNS講習会開催 挨拶運動月1回



9

子供安全部会の小坂です。宜しくお願い致します【通訳】

子供安全部会の課題は、子供の安全とし、主な取組実績はご覧のとおりです。

・通学パトロール隊を12名増員しました。【通訳】

・児童公園の安全点検を年1回実施し、公園遊具・危険箇所の改善を行っています。  
公園遊具の維持改修等の成果が上がっています。【通訳】

・通学路の安全対策ですが、小学校の通学路は県道で交通量が多く、カーブが多く道路幅が狭いため大変危険な通学路となっていました。交通量調査や関係機関への要望により、2016年2月に区内初めての横断歩道を設置、5月には側溝250mにグレーチングを設置して道路幅を確保してグリーンベルトを設けました。【通訳】

これにより通学路の一部変更ができて、安全性が大幅に向上しました。なお、引き続き歩道の設置を進めたいと思っています。【通訳】

・子供の安全用具として、防犯ブザーとセフティバンドを小学生全員に配布しました。  
・啓発活動として、ネット上での社会的繋がりであるSNS講習会を全区民対象に開催しました。また、月1回「あいさつ運動」を展開しています。

【通訳】

以上が子供安全部会の成果実績です。【通訳】

## 図表5 防災救命部会の取組成果

### 課題～防災対策の推進

取組項目	内容・成果実績
消防施設マップ	全戸配布
防災無線の調査	難聴地区基地更新
災害危険区域図	全戸配布
安否確認体制	安否確認台帳完備
AED設置場所	屋内を屋外に移設
アンケート（現状把握）	救急安心 カード・家庭の防災対策・命のカプセル
啓発活動	非常時行動手順書・非常持ち出し・東京防災・地震啓発資料・刈払機の取扱い 全戸配布



非常時行動手順の説明会

10

防災救命部会の山田です。宜しくお願い致します。【通訳】

富田区内には土石流の危険な沢が3箇所あることから隣接区と指定避難所の運営に関する申合せにより隣接区公民館が使えるようにしていること、区内を伊那谷断層帯が走り発生確率は低いものの発生時には甚大な被害を及ぼすとされています。【通訳】

よって防災救命部会の課題は防災対策の推進とし、主な取組成果はご覧のとおりです。・消防施設マップを作成し全戸に配布しました。知っているつもりでも意外と知らない消防施設の在りかです。【通訳】

- ・防災無線の難聴地区を調査しました。その結果を受けて2016年3月に防災無線スピーカーを増設しました。
- ・土石流警戒区域と伊那谷断層のマップを作成し全戸配布を行いました。【通訳】

・AEDの設置場所を変更しました。これまでは公民館の館内に設置されていましたが、持ち出し時間とガラスを破って入館する場合のケガの危険性を考慮して、公民館外壁に設置しました。外壁に設置されているケースは多く見られますが、これもSCの取組がなければ変更できなかったかもしれません。【通訳】

・アンケートは、3回行いスライド記載の3項目について現状把握と住民意識の確認を行いました。

・啓発活動は、スライド記載の5項目について資料作成し全戸配布いたしました。【通訳】

・安否確認体制の構築は、プライバシーの問題もあり、登録者数を懸念しましたが、区民の91%の人が登録を希望し、安心安全への関心の高さを実感しました。この台帳は1年ごとに更新いたします。この台帳登録につきましては次のスライドで説明させていただきます。【通訳】



# 緊急時安否確認台帳

## 記入例

捺印して下さい

H27年度調査

富田区長殿

秘

## 緊急時安否確認台帳登録申込書

私は、安否確認の重要性を理解し、下記のとおり登録いたしたく申し込みます。

1	常会	2	組	世帯主氏名	富田太郎	電話番号	79-1234	ご家族全員、乳幼児も記入して下さい
同居者氏名	性別	続柄	年齢	携帯番号	就業先電話番号	身体状況		
① 富田 太郎	男	本人	53	90-1234-5678	###株式会社 0265-79-8910	中央病院 (向山先生)	糖尿病透析中 (月水金) インシュリン薬	
② 富田 華子	女	妻	55	0-5678-910	主婦 0265-79-1234	生協病院 (安藤先生)	高血圧症 血圧の薬	
③ 富田 春男	男	次男	22	0-0000-222	△△△株式会社 0265-70-9876	身体障がい3級 (聴力障がい)		
④ 富田 玉子	女	長女	14	0-3333-445	箕輪中学2年生 0265-79-1234	出来るだけ細かく記入して下さい		
⑤	男: 女:							

本の状況記入欄には、災害時特に関知しておきたい事項、掛り付け病院・主治医(病歴・透析通院・障害の有無と程度・常備必要な投薬種類など)

緊急連絡先	氏名		続柄	住所			電話番号	携帯電話番号
	①	富田 一郎	長男	伊那市 中央区 3丁目 456番	65-77-11	090-9988-7766		
②	中曾根 高広	実弟	箕輪町 中曾根 123番地	0265-77-8899	080-6666-7777			
③	向山 美美子	妻の姉	静岡県 浜松市 東町 789番地	045-66-8910	090-****-****			

注: 上記、緊急連絡先欄には同一世帯以外の家族が親戚及び知人を複数記入して下さい。

本台帳は緊急時に使用されます。

11

それでは、緊急時安否確認体制の確立について説明させていただきます。【通訳】

この、登録内容は区民と緊急連絡先各人ごとの氏名・年齢・勤務先・電話番号・身体状況・罹りつけ病院名等個人情報が多数含まれている内容です。【通訳】

その為、登録依頼文書には、区内に伊那谷断層と土石流警戒対象の沢が3か所存在する事・大震災を経験した神戸市、新潟中部地区の取組・長野県白馬村のマグニチュード6.7の地震で「死亡事故ゼロ」が注目されている報道記事等を広報し、個人情報管理を明記し区民に配布しました。【通訳】

結果は、当初の懸念をよそに、登録人数338人・世帯数比91%の登録申し込みとなりました。

この台帳は、災害対策本部に手渡し、災害の安否確認体制が整いました。【通訳】  
以上が、防災救命部会の成果実績です。【通訳】



## 図表6 高齢者家庭部会の取組成果

課題～高齢者の安全とケガ予防

主な取組項目	内容・成果実績
夜間の安全対策	自発光器全戸配布
健康維持対策	ウォーキング実施
〃	体力・健康測定
アンケート実施	支援要望事項
〃	反射帯の利用状況
〃	転倒・怪我の事例
地域包括ケアシステム	勉強会（7回）
啓発活動	声掛け・健康体操



配布した自発光器

12

高齢者家庭部会の向山です。宜しくお願い致します。【通訳】

高齢者家庭部会の課題は高齢者の安全とケガ予防とし、主な成果はご覧の通りです。  
 ・**夜間の安全対策**として、自発光器を1軒に1個配布し、追加希望者には有償で配布しました。【通訳】

・**健康維持対策**として、他団体と協賛でウォーキングを年1回継続実施しています。また、体力・健康測定では、骨密度他12項目のボディバランスチェックを年1回継続的に行っています。【通訳】

・**アンケート**は、支援要望事項・反射帯の利用状況・転倒、ケガの事例等について3回行いました。【通訳】

・介護保険制度の変更により予防給付のうち、訪問介護・通所介護を町支援体制に移行する**地域包括ケアシステム**が段階的に実施されることから、地区別・団体別に7回の勉強会を開催しています。【通訳】

・**啓発活動**では、回覧板に近隣の声掛け依頼文書を貼付し常時意識の高揚を図っています。その他健康体操・転倒防止体操の紹介など行いました。【通訳】

以上が高齢者家庭部会の主な成果ですが、これからは地域包括システムの構築が大きな取組になります。【通訳】

図表 7

## 広報班の取組成果

主な取組項目	内容・成果実績
区内広報	TAA便りの全戸配布
広域広報	新聞記事掲載
関連団体との連携	活動報告の実施



### 安全安心の日制定記念 フォーラム2014で活動発表<sup>13</sup>

・これは広報班の主な取り組みです。【通訳】

広報班は組織発足当時はありませんでしたが、SCの趣旨と活動を広報し、情報の共有を目的に2014年に組織されました。【通訳】

・**区内広報**はTAA便りを全戸配布し活動報告等を伝えています。この2年間で4号まで発行しました。区民総会で年1回報告会を実施しています。【通訳】

・**広域の広報**は、安否確認体制など8回の新聞報道がなされました。【通訳】

・**関連団体との連携**は、安全安心の日制定記念ホーラム参加など6回の連携活動を行いました。【通訳】

・以上が広報班の主な取り組みですが、今後はさらに、町内全体にこの活動が広がるように努めてまいりたいと思います。【通訳】

## TAAのトピックス

- 2014年 4 月  
白石先生の指導
- 2015年 1 1 月  
モデル地区指定
- 2016年 5 月  
JISC奨励賞受賞
- 2015年 町S C活動  
推進補助金の活用  
金額 141,000円



## J I S C 奨励賞受賞

14

TAAは、2013年4月に組織され、同年7月より実質的な活動が開始されました。【通訳】

試行錯誤する中、2014年4月28日に日本セーフコミュニティ推進機構代表理事の白石先生にお出でいただきご指導を賜りました。【通訳】

そのなかで、対策の3本柱は

まず「環境を変えること」、これができなければ「教育により人の行動を変えること」、さらにこれもできなければ「規制・ルール対応」することなどにつき、指導を頂きました。

【通訳】

2015年11月に町内2番目のモデル地区に指定されました。【通訳】

2016年の5月、日本セーフコミュニティ推進機構の奨励賞を白石先生より授与されました。もう少し頑張れとの達しだと理解し、今後とも頑張って・楽しんで進めていきたいと思っています。【通訳】



## 活動が進んだ要因

- ① トップダウンでなくボトムアップ
- ② 地域が小さく、まとまりがあった
- ③ 危険個所と高齢化による危機感

## 成果

- ① コミュニケーション機会の増加
- ② 主体意識、共助の醸成

地域力向上

15

TAAの活動が進んだ要因を考えると、【通訳】

- ① ボトムアップの精神で、区民に耳を傾け、アンケート等で意見の吸い上げに注力したこと。【通訳】
  - ② 地域が小さく、従来より纏まりがあり、その地域力が背景にあったこと。【通訳】
  - ③ 高齢化等社会的変化と伊那谷断層等自然環境が背景にあったこと【通訳】
  - ④ 立ち上げ段階より、区の主導による協議会との位置付けを強調してきたこと。【通訳】
- などが、活動の進んだ要因と考えています。【通訳】

成果は、

- ① 部会内の協議やSCを通じての区民との触れ合いにおいて、コミュニケーションの機会が増えたこと。【通訳】
- ② 地域のことは自分たちで、共に助け合いながらの意識・行動が醸成されたことです。【通訳】



## TAA活動の今後の課題

- **1 積極的な参加・・・もっと楽しく面白く！**
- **2 見える化の推進・・・メンバーの情報共有・区民への周知**
- **3 PDCAの更なる実践・・・アンケート分析と区民への報告**
- **4 若い人の取込み・・・メンバーが50～70代に集中**

16

これは、TAAの今後の課題です。【通訳】

まず、活動をもっと楽しく面白くする工夫が必要と思います。【通訳】

次に見える化の推進ですが、情報の共有と、区民への周知徹底が重要と考えています。【通訳】

次にPDCA手法の更なる実践ですが、アンケート分析手法の向上と、区民へのフィードバックが更に必要だと思います。【通訳】

最後に、現在のメンバーは50代後半から70代に集中しており、若者の参加が重要と考えます。

以上4点が主要な課題です。【通訳】

ご清聴誠に  
ありがとうございました

- 今後とも、ご指導  
ご鞭撻のほどお願い申し  
上げます。



以上でTAAの活動報告を終わらせて頂きます。  
ご清聴ありがとうございました。  
今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。【通訳】